



目標と手段 ～自己発電能力～

体育祭、合唱祭と大きな行事を終え、自主的な活動を通して、生徒一人一人、またクラスや学年の成長を感じました。

生徒たちは、優勝や金賞を目指し、練習に取り組み、素晴らしいパフォーマンスを発揮しました。行事のまとめや振り返りを見てみると、受賞したクラスも及ばなかったクラスも、これからの生活に前向きな気持ちを持っていることに感心しました。発達段階にある子供たちには、結果からモチベーションを高めることもありますが、そこに至る過程が大切なことは言うまでもありません。

そこで、生徒の姿から改めて考えたことは、「目標」についてです。

人によっては「目標」を達成してした途端に、目指すべきものが分からなくなってしまう、切り替えができず行き詰ってしまうことがあると聞いたことがあります。「自分自身のモチベーションを維持できなくなってしまう。」というところでしょうか。

目標を持つことは大切なことですが、目標は一度決めたら終わりではなく、自分の「現在地」により、変化していくものです。

「現在地」つまり、実力や環境は変化する

ものであり、それに応じた目標を考えることができることが大切です。これが、自己発電能力ともいえる力で、山に登ると、次に登るべき山が現れ、チャレンジしていくような経験重ねていくことが必要であると考えます。

また、目標を立てたら、「それは何のためなのか」と理由を考えることも必要です。理由を考えると、本当の目標が見えてきて、目標と思っていたことが、実は「手段」であることに気づくこともあります。

例えば、3年生の進路選択です。自分の「現在地」を意識しながら、これから「何を学びたいのか」、「何をしたいのか」を考えることで、目標が形づくられる、志望理由と志望校がマッチしていきます。不思議なもので、明確な理由を持って勉強する生徒ほど、伸びも大きなものとなるものです。

先日、「ハヤブサⅡ」のプロジェクトマネージャーの津田雄一氏の講演があり、講演のまとめのところで、「夢がかなった。というより、小さな興味を育てていったら、夢のようなことができた」と話されていました。まさに、現在地を確かめながら、目標を持ち続けた結果ではないかと思いました。



行事予定

11月		12月	
4～10	3年生三者面談	1(木)	短縮日課(市政施行100周年関係)
11(金)	短縮日課(4時間授業・給食後下校)	7～9	複式学級校内実習
12(日)	(いもの子作業所バザー会場)	7～13	3年生三者面談
14(月)	県民の日	19(月)	1・2年生保護者会(4時間授業)
21(月)	歯科保健指導(1年生)	19・20	3年生保育実習
24・25	期末テスト(2日間)	21(水)	給食最終日
30(水)	中学校ダンス発表会	23(金)	2学期終業式・3年生通知書交付
		24～1/9	冬季休業日

※12月1日は、多様な記念事業が実施されます。半日で下校となりますので、この機会に興味あるものに参加してみてください。(事業の詳細は市の広報やHPを参照してください。)



11月は「いじめ撲滅強化月間」です

いじめは重大な人権侵害であり、決して許されることではありません。富士見中学校でも、友人関係の様々な相談を受け、問題の解決に取り組んでいます。11月には、「いじめ問題」について全校生徒で考え、いじめの未然防止や早期発見に役立てたいと考えています。

いじめは子供の中で起こる問題であることから、子供を置き去りして、大人が考えたことだけで、いじめの予防や解決に至ることは難しいと考えます。そこで、生徒とともにいじめについて話し合い、考えたことが実践できるよう取り組んでいきます。

また、子供たちの人権感覚を高めていく取り組みは必要ですが、いじめを子供だけの力では解決できない場合もあります。そこで2つのお願いがあります。

1つは、お子さんに元気がない、何か悩んでいると感じたときは、声をかけ、話を聞いてください。まずは、どうしたいのか、自分の考えをまとめる手伝いをお願いします。

2つめは、お子さんがいじめの当事者になる場合もあります。子どもは成長の過程で、トラブルを起こす場合もあります。きちんと向き合って、解決していくことが成長につながります。

心配な様子が見られたら、まずは、学校に相談いただきたいと思いますが、本校と川越市の相談窓口を記しておきます。

【相談窓口】

- ・富士見中学校さわやか相談室（直通）：248-6722
- ・川越市電話相談：234-8335 川越市いじめ電話相談直通電話：234-8336

子育て体験学習 ～命の講座～

10月31日にNPO法人「川越子育てネットワーク」の方をはじめ、7名の方においでいただき、赤ちゃんのお世話体験（抱っこ・沐浴・ミルク作り・妊婦体験）と誕生学として、誕生までの軌跡の講義を受けました。

生徒たちのやさしい顔と笑顔、そして、命にと向き合う真剣なまなざしに出会うことができました。

これから、生徒には命の大切さを学び、自分を大切にすること、そして、自分と同じように、他者を大切にすることも学び、実践していくことを期待しています。

11月3日の前後2週間が「読書週間」に指定されています。今年の標語は「この一冊にありがとう」です。手元に置いておきたい本と出会うことは、自分を豊かにしてくれます。

読書週間にちなみ、自分が読んで紹介したい本を発表するビブリオバトルが、市内で初めて開催されました。

11月1日の市のビブリオバトルでは、富士見中の他、発表者のいる寺尾中・砂中・東中の4校に聴衆として2校が加わり、生徒一人一人が審査し、投票の結果、本校の生徒が紹介した、「あの花が咲く丘で 君とまた出会えたら」がチャンプ本に選ばれました。（4校の中では最優秀賞に選出）

この機会に、誰かに紹介したくなる本と出合ったいと思っていました。

